

ニュース

【稽古休みについて】

新型コロナウイルス関係で、公立の小中高校が春休みまで休校となりますが、岩屋中学校も休校となり、部活動も中止となるそうです。

そのため、北星館も万一のリスクを考慮して3月一杯は稽古を休みとすることにしました。

土日の稽古だけでなく、水曜日の稽古も同様に休みとします。

また、長与の道場も道場自体の使用の可否は決まっていますが、稽古は休みとします。

4月以降の稽古に関しましては、コロナウィルスの終息具合を判断して決めたいと思います。

会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、諸般の事情をご理解のうえ、協力をお願いいたします。

【行事関係】

- ・「遠藤征士郎」先生の交流研修会

主催 : 氣和会

日時場所 : 2月29日(土) 15時～ カプトガニアリーナ

3月1日(日) 10時～ 長崎諏訪体育館

⇒ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止です。

- ・北星館学童部卒業記念演武会

日時 : 2020/3/22(日) 16:00～17:30(15:30 集合)

場所 : 岩屋中学校武道場

⇒ 楽しみにしていた卒業演武会ですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、残念ではありますが、中止または延期といたします。

会員投稿

吉田さんの投稿です

学童部の稽古のときには、必ず「合気道の精神」を唱和しています。

先日、韓国人の男子学生が稽古体験をした際に、「合気道の精神」について少し話をしました。話をしながら、自分でも思うことがあったので今回はこのことについて書きたいと思います。

入門して「合気道の精神」初めて見たとき、「孫氏の兵法」の謀攻篇の一説が頭に浮かびました。

「彼を知り己を知れば百戦あやうからず」という一説がよく知られていますが、その後にも

「百戦百勝は善の善なる者にあらざるなり。戦わずして人の兵を屈するは善の善なる者なり」

というのが続きます。

「百戦百勝が最高ではない。戦わないで勝つのが最高である」ということですね。

「合気道の精神」にある「敵をして戦う心無からしむ、否、敵そのものを無くする」というのを見たとき、これはさらに上に行く考えではないかという印象を受けたのを覚えています。

また、熊本の研修会に参加するようになり、大先生から

「無敵とは、誰よりも強いということではないのです、敵が無いということなのです」

という話を聞き、驚きを覚えました。

たとえ、一時期は無敵を誇っていても、さらに強い人は出てくるだろうし、なにより老いや病には勝てるものではないと考えていたからです。

相対的な強さとは質が違う絶対的な強さを求めていくことなのだと、目からうろこが落ちる思いでした。

「合気道の精神」は人により、また修行の段階により解釈が変わってくると思いますので、ここからは、あくまで個人の意見です。

「敵がない状態」とはどんな状態でしょうか？

私は、我があるから敵がある、我が無ければ、敵も無くなるのではないだろうかと考えます。

ここでいう我とは、我欲のことです。うまく技をかけてやろうといった思いも含まれますね。

我欲を捨て、相手を受け入れ、相手との結びを作り、一体化することで我も敵もない状態に近づいていくのではないのでしょうか。

優れた武道・武術は宇宙の法則を表していると言われていますが、これは「天地の心」、「天の理法」と同義とみています。「天地の心を以て我が心とし」「天の理法を体に移し」といった修行を通して「絶対的自己完成」を目指し、人間性を高めて「霊肉一体の至上境に至る」ことが「無敵」になることがではないかと思っています。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大で各方面に大きな影響が出ていますが、岩屋中学校も 3/2(月)から休校になることから、北星館も稽古休みとなりました。

長崎の外れの小さな道場にまで影響が出ることから、今回の影響範囲の広さが実感できます。

皆さんも健康には留意していることと思いますが、最後は個々人の体力、気力がものをいうと思います。

予防に務め、健康を維持してください。早く合気道ができる環境が戻ることを祈っています。